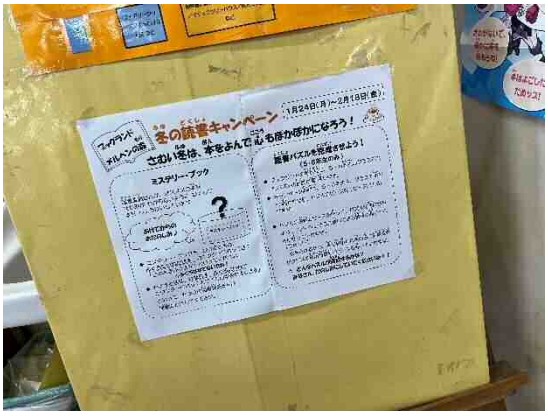
冬の読書キャンペーン取組事例紹介シート（様式１）

取組名　ミステリー・ブック

施設名　さいたま市立浦和大里小学校

取組内容・工夫したところ・子どもの様子など

- 図書委員がおすすめしたい本を選び、選んだ本を保管期間の過ぎた「子ども新聞」で作った袋に入れて、中身がわからないようにして貸出を行う。
- 袋には、図書委員が書いたポップ用紙（連番、中の本のヒント「〇〇の本」、自分のクラスと名前）を貼付する。
- 司書が、連番と本の資料コードのバーコードの一覧表を作成し、貸出や返却の手続きは、連番をみて表のバーコードをスキャンして手続きを行う。
- 児童には、「学校の中では袋から本を出さない事」「袋の中身を友達に教えない事」などの約束を守って借りるように話をする。
- 読む本が偏りがちな児童が多い中、普段手に取らない本に触れる機会となり、読書の幅が広がるきっかけとなった。

活動風景（写真２枚程度）